

設楽町つぐ診療所 **だより**



第30号(平成22年9月)

設楽町つぐ診療所 設楽町津具字中林26 電話0536-83-3001

◆ 時間外の診療依頼は先に83-3001にお電話をお願いします。

★医療を『育てる』ということ

8月に新城で県内へき地医療関係者が集う研修会がありました。ここで千葉県立東金病院院長の平井愛山医師が「地域の医療を守るには」という題で講演をされました。

東金病院も一時期内科医が院長を含め2名まで減り、外来診療が終わるのが夜の10時・11時という時もあったそうです。しかし院長は逃げませんでした。大学からの医師の派遣が難しくなったからには地域で医師を育てる、そのためにも魅力ある病院や地域をつくろうと地域でいろいろな取り組みを始めました。

医療再建の取り組みは院長だけでなく住民の方の積極的な運動もあります。研修医を地域で一人前の医師に育てるため住民と研修医と接触する機会を多く設けてあり、その中で研修医は患者さんや地域とのコミュニケーション技術を学んでいきます。病院や地域に魅力を感じる医師は病院に残り次の医師を育てていきます。そして地獄を見た病院も見事立ち直ってきました。



設楽町は病院がなく、医療問題はどうしても他の自治体や病院にお願いすることが多くなります。しかし新城市民病院が何とかなれば地域の医療がなんとかなるといえるのは甘いと思います。この町にも6000人の人が生活している以上、15~20年に一人医師をこの町に戻さないと医療の継続は困難です。

診療所もまだ先ですが若き研修医の受け入れを始めようと思います(平成24年度以降予定)。若い医師に地域や地域医療の現状を知ってもらい、何百人に1人でも希望を持って地域に残ってくればこれ以上のことはありません。また地域の現状を知った医師が東三河医療圏が増えてくれて、受け入れ先の病院で待っていてくれるだけでも非常に心強いものがあります。皆さんも医師や医療を育てることによるこの地域のメリットを考えてみてください。

また医療に限らず農業や工業・そのたすべての産業で後継者の問題があります。ぜひ進んだ技術を学びまた帰ってこいと、その間は今の世代が地域を支え帰ってきてくれる魅力を育てておくからと言えるようになるといいですね。診療所も地域の一員として将来誰かが後を継いでくれるような医療を展開できたらと思います。

何とかしてこの地域を今後も残すため、それぞれの立場でできる事を考え、できれば皆で一緒の方向を向いて頑張りましょう。



※9月3日に浜松医科大学から3名の学生を受け入れます。

診療や往診の様子を見てもらおうと思っています。ご理解よろしくをお願いします。